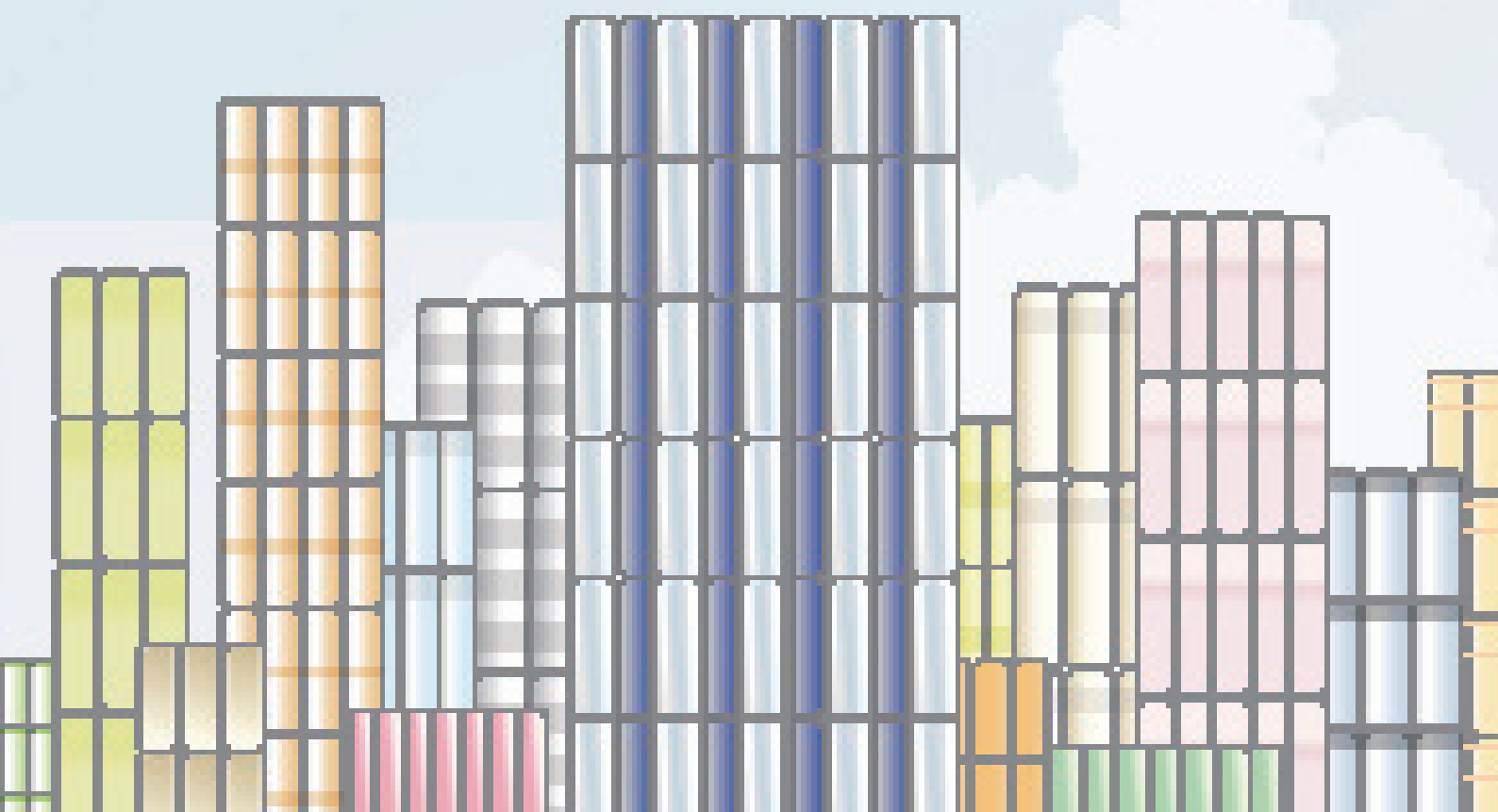


J a p a n B o o k P u b l i s h e r s A s s o c i a t i o n

一般社団法人 日本書籍出版協会

www.jbpa.or.jp



日本には千年を遥かに超える、世界でも稀有な書物の歴史があります。古来、日本人は本を通して多くの知識を得、思索を深め、心を育んできたのです。そして、そんな身近な存在である本を出版界はずっと支えてきました。

しかし今、出版界は多くの深刻な課題に直面しています。物流問題をはじめとして、低迷を続ける売上問題、教育に関する補償金制度、海賊版への対策と著作権制度の普及啓発、消費税の軽減税率適用への要望、図書館との連携の在り方、また海外市場の拡大やデジタル市場への新たな取組みなど、枚挙に暇がありません。そしてこれらの課題が解決されないと、出版社は、身近な存在であるはずの本を刊行し続けることや読者の元に届けることすら出来なくなるかもしれないのです。しかし、その多くは出版社一社で解決できるようなものではありません。私たち日本書籍出版協会は書籍出版界を代表する組織として、率先してそれらの課題に取り組み、その助けになる組織でありたいと考えています。

当協会は大小さまざまな規模の出版社で組織されています。各出版社は多彩な分野を網羅し、個性豊かな出版活動を行っています。そして当協会は、その多彩な出版社が、共有する課題についてそれぞれ自由に意見を述べ、知恵を出し合える「場」でなければなりません。当協会がそのような「場」であり続けることが、課題解決への糸口となり、結果として出版活動の根幹である「出版・表現・言論の自由」や、豊かで多様な日本の出版文化を守ることに繋がると考えるからです。

また、当協会が取り組むべき役割として、「読者」、正確に言えば「潜在的な読者」に、本の情報や読書の喜びを広く伝えることがあります。出版物の売上が長年にわたって低迷を続け、「活字離れ」や「出版不況」という言葉が連日のように飛び交う中、いつの間にか、本の世

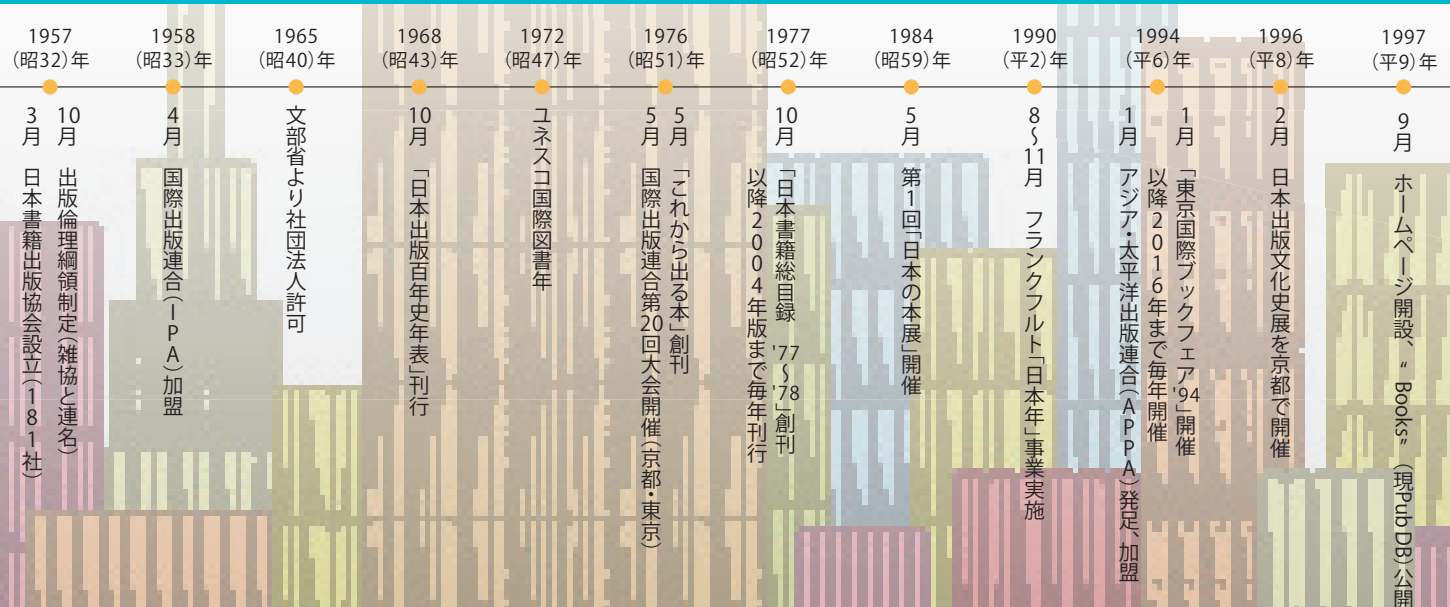
界に生きる私たち自身が、それを当然のこととして受容するようになってしまいました。しかし、何か災害が起きた時、人々は必ずと言っていいほど書店に足を運びます。電子書籍は売上を伸ばしていますし、SNSやテレビ番組等をきっかけとしてベストセラーになっている本も数多くあります。読者や読書時間が減っているという統計は事実ですが、それはメディアの多様化が進み、情報を得るための手段が大きく変わる中で、出版界が本の情報や読書の喜びをうまく伝えられていないからではないでしょうか。本の形は時代とともにさらに多様化するかもしれませんが、水面下には本に期待し、きっかけさえあれば本を読みたいと思っている方がたくさんいるのではないのでしょうか。本の世界に生きる私たちがそれを信じなければ何も始まりません。もう一度出版の原点にかえり、「本の情報や読書の喜びを広く発信すること」そして「出版社が精魂込めて作った本を一冊でも多くの方に届けること」について当協会としてできることを模索して参りたいと思います。

本は未来を創る媒体そのものです。過去と現在・未来を媒介し、日本と海外を媒介し、老人と若者を媒介し、そして著者と読者を媒介していくのが本です。私たちはこの本の役割を、そして本に携わる業界に生きる喜びを次代に引き継ぐため、努力して参ります。皆様のご指導ご協力を切にお願い申し上げます。



一般社団法人
日本書籍出版協会
理事長 小野寺優

●書協のあゆみ



書協の目的・事業、機構

日本書籍出版協会役員

(令和4年7月現在)

理事長

小野寺 優(河出書房新社)

副理事長

井村 寿人(勁草書房)
野間 省伸(講談社)
相賀 昌宏(小学館)
山本 憲央(中央経済社HD)
成瀬 雅人(原書房)

専務理事

樋口 清一(兼事務局長 常勤)

常任理事

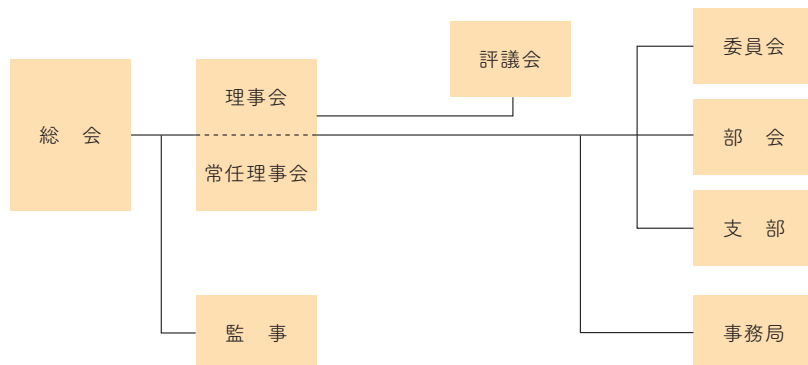
金原 優(医学書院)
村上 和夫(オーム社)
曾根 良介(化学同人)
南條 光章(共立出版)
斎藤 健司(金の星社)
富永 靖弘(新星出版社)
佐藤 隆信(新潮社)
岡本 功(ひかりのくに)
千葉 均(ポプラ社)
江草 貞治(有斐閣)
理事
筑紫 和男(建帛社)
小峰広一郎(小峰書店)
鶴巻 謙介
(サンクチュアリ・パブリッシング)
太田 泰弘(晶文社)
佐藤 諭史(新興出版社啓林館)
矢部 敬一(創元社)
佐藤 歩武(大学書林)
鈴木 一行(大修館書店)
喜入 冬子(筑摩書房)
谷口奈緒美
(ディスカヴァー・トゥエンティワン)
黒田 拓也(東京大学出版会)
梅澤 俊彦(日本医事新報社)
佐藤 潤一(福音館書店)
下中 美都(平凡社)
内田 真介(ベレ出版)
西村 明高(法蔵館)
池田 和博(丸善出版)
片岡 敦(臨川書店)
監事
安部 英行(学事出版)
風間 敬子(風間書房)
飯塚 尚彦(産業図書)
中部 嘉人(文藝春秋)
室中 道雄(公認会計士)

目的と事業 Objectives and Activities

出版事業の健全な発展とその使命の達成を図り、もって文化の向上と社会の進展に寄与することを目的に、以下の事業を行っています。

- ① 出版事業の健全な発展と出版文化の向上に必要な調査・研究
- ② 国内外の出版文化普及のため、読書推進等の諸活動の実施及び協力・参加
- ③ 関係官庁及び関係団体との連絡・協力
- ④ 出版事業発展のために必要な関係者の親睦と福利増進
- ⑤ 機関紙等刊行物の編集発行等の広報活動
- ⑥ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

機構 Organizations



●役員会、総会 Board Meeting, General Meeting

本会の執行機関である理事会及び常任理事会を隔月で開催し、会務の運営にあたっています。また、理事会の中に常任理事会を設け、ほぼ隔月で開催しています。定時総会を年1回、評議会は随時開催しています。

●委員会 Committees

事業遂行上必要な調査研究を行い、理事会の諮問に応じるため、問題別に委員会を設けています。
流通委員会／生産委員会／研修事業委員会／出版経理委員会／知的財産権委員会／読書推進委員会／図書館委員会／国際委員会／出版の自由と責任に関する委員会／国語問題委員会／人事・総務委員会／ブックフェア委員会／近刊図書情報委員会／コンテンツ活用推進委員会／読書バリアフリー法に対応するアクセシブル・ブックス (ABS) 委員会

●部会 Working Groups

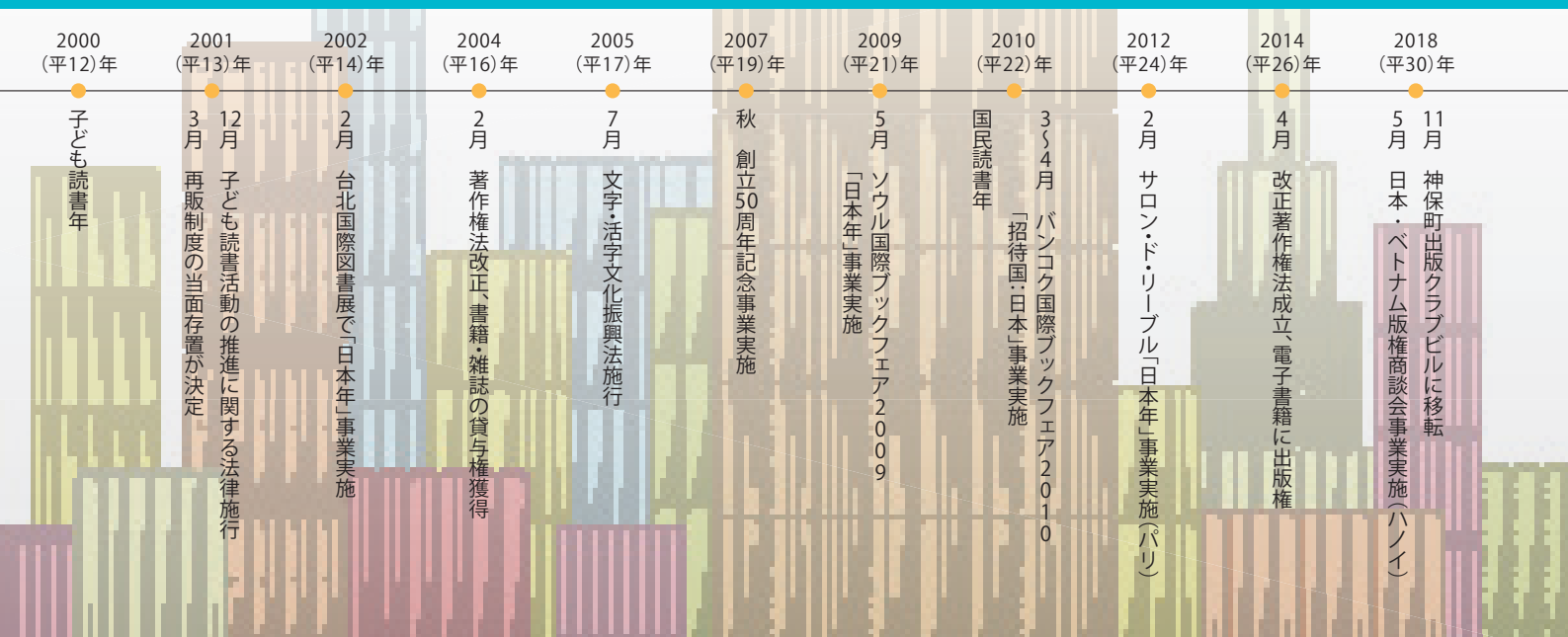
出版部門別の課題を検討するため、適宜、部会を設けています。
学習書部会／児童書部会

●支部 Branches

大阪と京都に支部を置き、本部との連絡・調整を図り、地区会員間の必要な事項に対処する活動を行っています。

●事務局 Secretariat Office

事務局に調査部、総務部を置き、本会の事業に必要な事務を担当しています。



日本では年間に約7万点の新刊書籍が出版され、市場で入手可能な書籍は約100万点という世界有数の出版大国です。また、雑誌は約2,600タイトルが書店ルート等で流通しています。これらの出版物が読者の求めに応じて迅速かつ確実に手に入るよう、当協会をはじめ*出版4団体が中心となって、さまざまな活動を行っています。

*出版4団体とは、日本書籍出版協会、日本雑誌協会、日本出版取次協会、日本書店商業組合連合会を指します。

読書推進活動 *Promotion of Book Reading*

2001年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、この2つの法の理念を具現化するため、2007年10月に（財）文字・活字文化推進機構が設立されました。また、2010年は「国民読書年」として、全国で様々な読書推進活動が展開されました。

当協会は子どもたちのみならず、あらゆる年齢層の読者に読書の喜びを知ってもらうため、多くの関係団体と連携し、多彩な読書推進活動を実施しています。

●上野の森親子ブックフェスタ *Book Festival in Ueno Park*



5月5日の子どもの日を含む3日間、上野公園で、絵本・児童書の販売、読み聞かせのイベント、絵本や読書に親しむための講演会などを開催しています（主催：子どもの読書推進会議ほか）。当協会も後援団体として協力を行っています。

●お話し・読み聞かせ団体等による著作物の利用について

読み聞かせ等における著作権の取り扱いに関する手引きを当協会ウェブサイトにて公開しております（2006年児童書四者懇談会（現・児童出版者・著作者懇談会、日本児童出版美術家連盟・日本児童文学者協会・日本児童文芸家協会・日本書籍出版協会児童書部会）が作成。2017年改訂）。利用者がスムーズに許諾手続きを行えるよう著作物利用許可申請書も併せて掲載。

流通改善 *Improving the Distribution*

出版物が速やかに読者のお手元に届くよう、書店・取次・出版社が連携して出版流通の改善に取り組んでいます。また、デジタル化による出版物の利活用に関する様々な動きに対応するとともに、新たな市場形成に資する研究を行います。

●「出版書誌データベース」(Books)

出版情報登録センター（JPRO）と連携し、JPROが運営する紙および電子の書誌情報サイト「Books」の普及に協力しています。JPROを管理する日本出版インフラセンター（JPO）では、ISBNコード、雑誌コード、書店情報、書店向け近刊情報（Books PRO）の管理等を行っています。

●謝恩価格本フェア

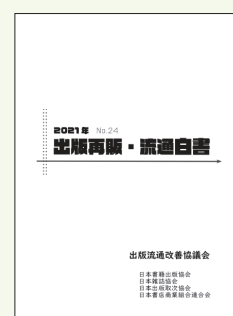
Thank-you Sale on the Internet



春のこどもの読書週間、秋の読書週間を中心に年2回、有志出版社によるインターネットでの謝恩価格本フェアを開催しています。一般の書店店頭では手に入りにくい稀少本等も販売し、読者の好評を得ています。

●出版再販・流通白書

Report of Resale Price Maintenance System



著作物再販制度は2001年3月に「当面存置」の結論が公正取引委員会から出されましたが、再販制度は独占禁止法の例外規定であり、弾力的な運用が求められています。出版界では、制度の弾力的運用を図り、その成果をまとめた流通白書を発行しています。

図書館 *Partnership with Library*

図書館は、出版界の良きパートナーです。公共・大学・専門の各図書館に加え、学校図書館の充実に協力し、多くの読者に読書の喜びを知ってもらうための活動を行っています。また、図書館資料へのアクセス手段への多様化に関する法整備等についての研究を行うほか、図書館界との積極的な交流・情報交換を図っています。

●学校図書館図書整備費の実体化推進

地方交付税として措置された学校図書館整備費を各自治体で実際に予算化してもらうように各方面への働きかけを行っています。

●図書館大会 *All Japan Library Conference*



毎年秋に開催される全国図書館大会(主催＝日本図書館協会)で分科会の開催に協力しています。

造本装幀コンクール *Japan Book Design Awards*

当協会と日本印刷産業連合会が主催する、造本装幀に携わる人々(出版、印刷、製本、装幀、デザイン)の成果を総合的に評価する国内で唯一のコンクール。入選作は、ドイツ・ライプツィヒの「世界で最も美しい本コンクール」に日本を代表して出品され、フランクフルト・ブックフェアや国内では印刷博物館(文京区)等で展示されます。



出版の自由と責任 *Protecting the Freedom of Publishing*

言論・出版・表現の自由は民主主義の根幹をなすものです。メディアを規制する懸念のある法律や制度に対しては、反対の立場を貫きます。一方で、出版倫理綱領ののっとり、責任ある出版活動を行うための適切な自主規制を進めています。

●メディア規制法案への反対 *Opposition to the Bills Restricting Freedom of Publishing*

言論・出版・表現の自由を脅かすおそれのある法律などについては、その運用を厳しく注視するとともに、新たなメディア規制の動きに反対していきます。

●出版倫理協議会 *Council on Publishing Ethics*



1963年に出版4団体で設立し、青少年に配慮した自主規制を行っています。また、第三者機関「出版ゾーニング委員会」を設置し、書店等における区分陳列販売を促進するため「出版ゾーニングマーク」の表示を出版社に要請しています。2006年からは、青少年閲覧防止のため小口シール止めを行っています。

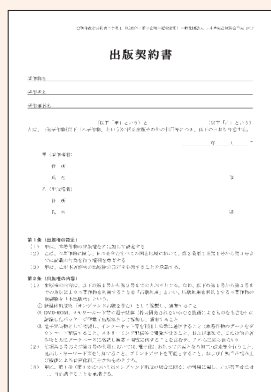
出版は、もっとも古いメディアであり、時間と空間を超えて知を媒介するものでもあります。出版文化を発展させ、次世代に継承していくため、さまざまな活動を行っています。

著作権 Respecting Copyright

著作物の創造に携わる著作者の知的活動が正しく権利として尊重されることによって、新たな創作を促すことができます。出版社も、この知の再生産に資するよう、発意と責任をもって出版物を世に送り出しています。

文化庁の文化審議会著作権分科会における審議の場に当協会の委員を派遣するほか、著作権の適正利用に関するガイドラインの作成等を行っています。

●出版契約の普及促進 Promotion of Model Contract of Publishing Agreement



改正著作権法が2015年1月に施行され、電子書籍にも出版権設定が可能になりました。紙と電子が一体となった出版契約書ヒナ型を作成し、当協会HPIに掲載しています。

●海賊版対策、ABJマークの普及 Anti-piracy, Spread of "ABJ" mark

海賊版対策の取り組みとして、著作権者から使用許諾を得た正規版の電子書店・電子書籍配信サービスであることを示す「ABJマーク」の普及に努めています。

Authorized Books of Japan



著作物利用に係る関連団体 Other related Copyright Organization

●出版者著作権管理機構(JCOPY)

Japan Publishers Copyright Organization

出版者7団体で構成する複写権に関する団体です。2015年からは出版物の電子化に対する許諾業務も開始しました。

●授業目的公衆送信補償金等管理協会

Society for the Administration of Remuneration for the Public Transmission for School Lessons: SARTRAS

授業における著作物の公衆送信をする場合の補償金受け取り団体として2019年1月に設立。SARTRASの構成団体のひとつの出版教育著作権協議会およびSARTRASに当協会から委員を派遣しています。

●出版物貸与権管理センター

Rental Rights Administration Center for Publications

レンタルブック店に対し、出版物の貸与権の許諾と使用料徴収を行っています。出版ADR(著作者と出版社間の著作権や契約上のトラブルを解消する公正中立的な組織)の相談窓口でもあります。

国際 Expanding the International Relations

デジタル化とネットワーク化の進展によって、海外の出版界とのつながりはますます緊密になっています。海外に向けて日本の出版界やコンテンツを広く紹介し、国際的に共通する問題について情報交換を行っています。

●フランクフルト・ブックフェア(FBF)共同ブース運営

Japan Booth in Frankfurt Book Fair

世界最大規模の国際ブックフェアであるFBFにおいて日本からの出版社を集めた日本ブースを運営しています。従来出版文化国際交流会が運営していましたが、2019年より、当協会がその役割を引き継ぎました。また、2021年には映像産業振興機構(VIPO)と共同でJapan Book Bankを運営し、日本コンテンツの海外進出を支援しております。

●国際出版連合(IPA) International Publishers Association



世界約80カ国の出版協会が組織する国際出版連合(IPA)に日本を代表して加盟しています。2018年にはインド・ニューデリーで第32回大会が開催されました。また、アジア・太平洋地域の出版団体が加盟する、APPA(アジア・太平洋出版連合)にも加盟しています。

研修 Seminar

出版社における研修活動を手助けし、激変する出版環境において生じる多種・多様な問題に関する最新の情報を提供し、出版社間でのコミュニケーションの促進を図っています。

●各種セミナーの開催

新入社員研修会、著作権講座、本づくりの基礎講座、出版業の税務研修会等を開催するほか、印刷工場、取次会社の見学会等を行っています。

●講師の派遣

著作権に関する基本的な事柄について、事務局より講師を派遣し、会員社向けに出張講義を行っています。

情報提供 PR and Publication

毎月一回、『会報』（1,300部）を発行するほか、メールやオンラインで、『出版広報』、『書協News Letter』等を発信、著作権に関する諸問題、読書推進に関するイベント等について、迅速な情報提供に努めています。

●テキスト類の発行

新入社員向けのテキスト、出版税務会計の要点、これから出る本等を発行しています。詳細は刊行物一覧。



その他委員会の活動 Other Committee Activities

●出版経理 Accounting for Publishing

出版社の経理・税務に関する問題の検討や相談、講習会等を行っています。

●人事・総務 General and Personnel Affairs

人事・総務関係の諸問題について、会員相互間の情報交換を行っています。

●国語問題 Japanese Language

文化審議会国語分科会に委員を派遣するほか、国語問題の研究を行っています。

●生産 Production and Publications

用紙・印刷・製本など出版物製作に関わる諸問題の調査研究を行っています。

●税制改正への対応 Dealing with Tax System Revision

消費税率変更への対応や、軽減税率を求める活動を行っています。

刊行物一覧

本づくり〈第5版〉
(新入社員のためのテキスト1)

2020年、A5判、80p.
定価:770円

出版営業入門〈第4版〉
(新入社員のためのテキスト2)

2021年、A5判、80p.
定価:990円

電子書籍版も
販売

出版社の日常用語集〈第4版〉
(新入社員のためのテキスト3)

2008年、A5判、80p.
定価:770円

翻訳出版の手引〈新訂第5版〉

2011年、A5判、68p.
定価:880円

電子書籍版も
販売

外国語版出版
国際共同出版マニュアル〈第4版〉

2011年、A5判、64p.
定価:880円

電子書籍版も
販売

出版税務会計の要点

毎年、B5判、56p.
定価:990円

電子書籍版も
販売

新版 出版契約ハンドブック

2017年、A5判、298p.
定価:4400円

出版再販・流通白書

毎年、A4判、112p.
定価:1100円

電子書籍版も
販売

2016年書籍の出版企画・製作等に関する
実態調査(第5回)

(第1回～4回調査収録版)
2016年、A4判、128p.
定価:1650円

地域の読書をほりおこすー図書館と書店・
出版社の連携による新たな地域読書活動
の試みとその課題

2019年、B5判、49p.
定価:935円

これから出る本

近刊書籍情報について、毎月2回各号10万
部を発行、書店店頭で配布。

出版契約書ヒナ型およびこれから
出る本は、当協会ウェブサイトよ
りダウンロード可能。

明石書店／あかね書房／秋田書店／朝倉書店／旭屋出版／明日香出版社／粹出版社／あすなろ書房／アリス館／家の光協会／医学書院／池田書店／医歯薬出版／和泉書院／井上書院／今人舎／岩崎書店／岩波書店／インプレスホールディングス／WAVE出版／潮出版社／内田老鶴圃／芸艸堂／英宝社／NHK出版／NTT出版／旺文社／大阪教育図書／大阪大学出版会／大月書店／御茶の水書房／オトバンク／オーム社／音楽之友社／偕成社／海青社／開拓社／海文堂出版／解放出版社／開隆堂出版／化学同人／学芸出版社／学事出版／学術図書出版社／学陽書房／風間書房／鹿島出版会／柏書房／Gakken／KADOKAWA／金子書房／金原出版／川島書店／河出書房新社／河原書店／かんき出版／関西大学／関西学院大学出版会／翰林書房／萌書房／紀伊國屋書店出版部／技報堂出版／九州大学出版会／求龍堂／教育出版／ぎょうせい／協同医学出版社／京都新聞企画事業／京都大学学術出版会／共立出版／銀行研修社／きんざい／金星堂／近代消防社／近代セールス社／金の星社／金芳堂／くもん出版／暮らしの手帖社／クリエイティブ関西／クレオ／くろしお出版／慶應義塾大学出版会／経済界／芸術新聞社／溪水社／勁草書房／敬文堂／研究社／玄光社／現代図書／建帛社／好学社／光生館／恒星社厚生閣／佼成出版社／講談社／光文社／弘文社／光文書院／弘文堂／晃洋書房／公論社／国政情報センター／国土社／古今書院／こま書房新社／小峰書店／コロナ社／サイエンス社／さ・え・ら書房／嵯峨野書院／山喜房佛書林／三共出版／産業図書／産業能率大学／サンクチュアリ・パブリッシング／三修社／三省堂／サンパウロ／三宝出版／サンマーク出版／サンライズ出版／サンリオ／産労総合研究所／JTBパブリッシング／視覚デザイン研究所／CCCメディアハウス／自治体研究社／実教出版／実業之日本社／柴田書店／思文閣出版／清水書院／ジャパンタイムズ出版／集英社／自由国民社／樹村房／主婦と生活社／主婦の友社／春秋社／春風社／旬報社／春陽堂書店／翔泳社／小学館／裳華房／彰国社／商事法務／少年画報社／少年写真新聞社／晶文社／昭文社／昇龍堂出版／照林社／昭和堂／女子栄養大学出版部／新学社／新興出版社啓林館／信山社出版／新書館／新星出版社／診断と治療社／新潮社／新日本出版社／新評論／人文書院／数研出版／すばる舎／スマートゲート／スリーエーネットワーク／駿河台出版社／聖教新聞社出版局／青幻舎／青山社／生産性出版／成山堂書店／青春出版社／誠信書房／聖徳大学出版会／青土社／聖パウロ女子修道会／成美堂／成美堂出版／成文堂／清文堂出版／誠文堂新光社／税務経理協会／税務研究会／清流出版／靑林書院／世界思想社教学社／世界文化ホールディングス／創元社／草思社／増進堂／受験研究社／ソニー・ミュージックソリューションズ／体育とスポーツ出版社／第一出版／第一法規／大学教育出版／大學書林／第三文明社／大修館書店／大創出版／大東出版社／大日本図書／ダイヤモンド社／大和出版／大和書房／高菅出版／高橋書店／TAC出版／玉川大学出版部／淡交社／筑摩書房／千倉書房／竹林館／地人書院／チャイルド本社／中央経済社ホールディングス／中央公論新社／中央大学／中央法規出版／鳥影社／築地書館／ディスカヴァー・トゥエンティワン／電気書院／天声社／トゥーヴァー・ジンズ／東海大学／同学社／東急エージェンシー総務グループ／東京化学同人／東京学参／東京書籍／東京創元社／東京大学出版会／東京電機大学／東京堂出版／東京図書／東京美術／童心社／東信堂／刀水書房／同成社／同文館出版／同文書院／東方出版／東方書店／東北大学出版会／同友館／東洋館出版社／東洋経済新報社／朱鷺書房／徳間書店／図書文化社／TOTO出版(TOTO)／永井書店／永岡書店／永末書店／ナカニシヤ出版／中山書店／名古屋大学出版会／ナツメ社／南雲堂／南江堂／二玄社／西村書店／日栄社／日外アソシエーツ／日貿出版社／日科技連出版社／日刊工業新聞社出版局／日経BP／日東書院本社／日本教文社／日本評論社／二宮書店／日本医事新報社／日本ヴォーグ社／日本加除出版／日本漢字能力検定協会／日本棋院／日本経済評論社／日本実業出版社／日本統計協会／日本能率協会マネジメントセンター／日本文教出版／日本文芸社／日本法令／ニュートンプレス／ネオテック／ロジー／燃焼社／農山漁村文化協会／培風館／白水社／白泉社／白帝社／白桃書房／博文館新社／博友社／白揚社／早川書房／原書房／判例時報社／PHP研究所／BL出版／東本願寺出版／東山書房／ひかりのくに／ビジネス教育出版社／ひつじ書房／檜書店／評論社／平河出版社／風鳴舎／フォレスト出版／福音館書店／福村出版／富山房／婦人之友社／扶桑社／双葉社／プレアデス出版／フレグランスジャーナル社／プレジデント社／フレーベル館／ブロンズ新社／文一総合出版／文英堂／文化学園文化出版局／文化書房博文社／文藝春秋／文真堂／文理／平凡社／平楽寺書店／ベースボールマガジン社／ベネッセコーポレーション／ベレ出版／勉誠出版／法研／法政大学出版局／法蔵館／法律文化社／北隆館／歩行開発研究所／北海道大学出版会／ポプラ社／ほるぷ出版／本願寺出版社／マガジンハウス／丸善出版／丸元／三笠書房／みくに出版／みすず書房／光村教育図書／光村推古書院／緑書房／ミネルヴァ書房／未来社／明治書院／メイツユニバーサルコンテンツ／メディアイランド／メディカル・サイエンス・インターナショナル／森北出版／森山書店／八木書店／薬事日報社／柳原出版／山川出版社／山口書店／雄山閣／有信堂高文社／有斐閣／ユーキャン学び出版／ユニ・プラン／養賢堂／養徳社／吉岡書店／吉川弘文館／ライフサイエンス出版／理工図書／理論社／臨川書店／早稲田教育出版／早稲田大学出版部



一般社団法人
日本書籍出版協会
Japan Book Publishers Association

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32 出版クラブビル5階
5F, Shuppan Club bldg., 1-32, Kanda-Jimbocho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0051
TEL:03-6273-7061 (代表) FAX:03-6811-0959
URL <https://www.jbpa.or.jp>

【賛助会員】イーブックイニシアティブジャパン／光和コンピューター／日本出版学会／ネットアドバンス／ボイジャー